



24日の本番に向けて練習する出演者ら＝きびドーム

「KATSU」は同日分。出演者は、昨年月に宰する栗原省さんとのオディジョンした地元作・演出。この記念祭のの、中、高校生と主婦のために書き下ろしたオリジナル作品。猿樂師の家計二十七人、小学四年生から四十歳の主婦まで勝が、差別やいじめにもくじけず、苦難を乗り越え成長していく物語で上演時間は約一時間四十分。指導を受け、今年入った一カ月のうち二十日間、本番の舞台となるきびドームまで、日約五時間の猛練習。当初、硬かった動きもよくなり、オリジナル曲二十数曲に合わせたダンスのほか、芝居にもいけるか余裕が出てきたという。

宗祇は和歌の西行、俳句の芭蕉と並び、三茶、香雪道も、流く詩とされ、同町下津野には熊指文化財の屋敷跡があり、地元でも宗祇をよく知らない人も増えている。

このため、同町では没後五百年記念祭に当たっ

ミュージカル上演へ

子供ら連日猛練習

連歌師・飯尾宗祇を題材に

室町時代の連歌師、飯尾宗祇（四二―一五〇三年）の生誕地とされる吉備町で二十一日―二十四日、没後五百年祭が開かれる。一連のイベントのクライマックスは、記念祭の最終日の二十四日、地元の子どもと主婦らで上演するミュージカル「KATSU」。本書を拝見、メンバーらは連日のように猛練習に取り組んでいる。

吉備で22日から没後500年祭

「KATSU」は同日分。

出演者は、昨年月に宰する栗原省さんとのオディジョンした地元作・演出。この記念祭のの、中、高校生と主婦のために書き下ろしたオリジナル作品。猿樂師の家計二十七人、小学四年生から四十歳の主婦まで勝が、差別やいじめにもくじけず、苦難を乗り越え成長していく物語で上演時間は約一時間四十分。指導を受け、今年入った一カ月のうち二十日間、本番の舞台となるきびドームまで、日約五時間の猛練習。当初、硬かった動きもよくなり、オリジナル曲二十数曲に合わせたダンスのほか、芝居にもいけるか余裕が出てきたという。

オディジョン後、プロの振付師や音楽家の指導を受け、今年入った一カ月のうち二十日間、本番の舞台となるきびドームまで、日約五時間の猛練習。当初、硬かった動きもよくなり、オリジナル曲二十数曲に合わせたダンスのほか、芝居にもいけるか余裕が出てきたという。

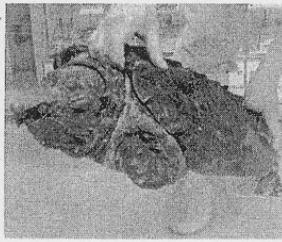
平成十一年に「宗祇法師五百年祭実行委員会」を発足。これまで、歴々の整備や本の出版、ゆかりの地を訪ねる企画を実施するなど、宗祇を通して町おこしと文化意識の向上の機運を盛り上げよう準備を進めてきた。

「勝」役は、幼少時代から少年時代までの年代を三人がそれぞれ演じ、そのうち一人で有田中央高一年、鶴田和也さんは「新しいことをやって何かを見つけたかった。何を見てみて、宗祇やかかわってきただけのその後も気になった。」

また、母親役の同町水尻、主婦、近藤由佳子さんは「ミュージカルをやりたかった。宗祇は身近に感じていたが、もっと深く知りたかった」と話している。

栗原省さんは「芝居を通じて自己表現できる子供になってほしい。また、この物語はいじめなどに負けて、自分自身で生きる道を探してもらいたい」といふメッセージを込

危険！ワニガメ捨てないで



「県動物の保護及び管理に関する条例」で、人に危害を及ぼす特定動物に指定されているワニガメや雪割れが県立自然博物館、海田市船尾の玄關本に展示されている。

自然博物館で啓発展示 海田市の砂防工事現場で一月末に捕獲されたワニガメや雪割れ、同館に引き取られた。米田が原産地で、甲の長さ四十五センチ、重十七キロ。舌を動かして魚をおびき寄せて食べる。

同条例は二年前の十一月に施行され、飼育するに知事事許可が必要。許可申請には手数料がかかることから故意に捨てられた可能性もあるという。

同館では「あひは人の指でもかみ砕く力がある。繁殖する可能性もあり、川で遊ばせれば、同館に引き取られる。飼いは絶対、捨てないでほしい」と呼びかけている。

電話 宝・工具

中尾貨店

京都山崎南東三丁目

電話(444)0047代

7・52・211へ。